



2011年3月期 決算説明会

2011年5月31日

# 目次

2011年3月期 決算の概要

2012年3月期 見通し

中期経営計画の進捗状況

# 2011年3月期 決算の概要

2012年3月期 見通し

中期経営計画の進捗状況

# 2011年3月期 決算ポイント

**収益性高い事業分野の伸張で、売上横這いながら増益**

**売上高**

718億87百万円（前期比  $\Delta 0.3\%$ ）

スチールコード拡大の一方、前期好調の開発製品は大幅減

**営業利益**

34億63百万円（前期比 53.5%）

開発製品関連で減益なるも、収益性高い太陽光関連製品（ソーワイヤ）の伸びでスチールコードの利益が大幅改善

**当期純利益**

7億65百万円（前期比 80.0%）

東日本大震災に伴う災害損失など特別損失計上も増益

# 2011年3月期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	10/3	売上高比	11/3	売上高比	前期比	
売上高	72,138	—	71,887	—	△251	△0.3%
営業利益	2,256	3.1%	3,463	4.8%	+1,207	+53.5%
経常利益	1,623	2.2%	3,054	4.2%	+1,431	+88.2%
当期純利益	425	0.6%	765	1.1%	+340	+80.0%

# 東日本大震災について

東日本大震災により、被災された方々にお見舞い申し上げます。また、一日も早い回復が実現できるよう、心よりお祈り申し上げます。

## 1. 当社生産工場における被害と現在の稼働状況

被災事業所	生産品目	被害状況	稼働状況
土浦工場	ワイヤロープ・ワイヤ	(1) 一部の生産設備、 棚卸資産の損傷・滅失 (2) 停電等による一時 生産停止に伴う稼働減 、機会損失	3/16より 生産再開、 4/下旬より 通常生産
北上工場	タイヤコード ソーワイヤ	(1) 同上 (2) 同上	3/18より 生産再開、 4/下旬より 通常生産
北上機械 製作所	ワイヤソー	(1) 棚卸資産の損傷・ 滅失 (2) 停電等による一時 生産停止に伴う稼働減	3/22より 通常操業

## 2. 震災関連費用

[2011年3月期  
特別損失計上分 (億円)]

項目	営業利益
固定資産・棚卸 資産の滅失等	2.5
設備の修繕・原 状回復費用	1.3
操業停止期間 中の固定費、 現地支援費等	2.3
合計	6.1

# セグメント別の状況（売上高）

**鋼索鋼線：ロープ増加も海底ケーブルワイヤ減少で若干減**

**スチールコード：タイヤコード数量回復とソーワイヤ伸張で大幅増収**

**開発製品：大型工事減少により、道路関連製品大幅減**

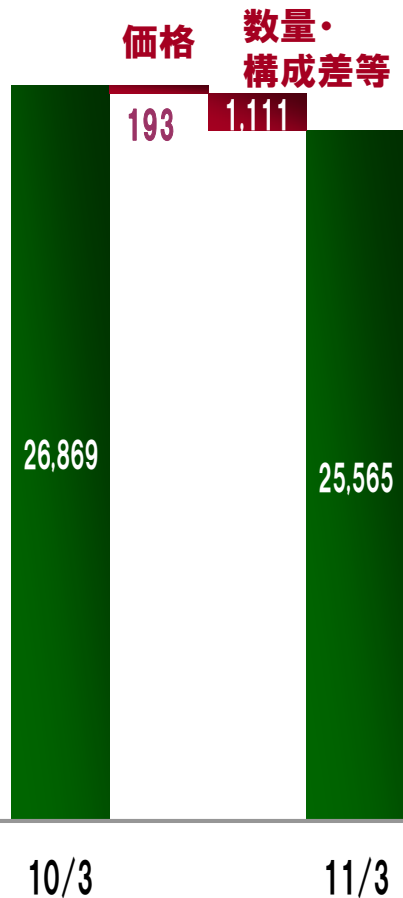
（単位：百万円）

	10/3	構成比	11/3	構成比	前期比	
鋼索鋼線	26,869	37.2%	25,565	35.6%	△1,304	△4.9%
スチールコード	18,112	25.1%	24,108	33.5%	+5,996	+33.1%
開発製品	19,015	26.4%	13,075	18.2%	△5,940	△31.2%
不動産	1,380	1.9%	1,230	1.7%	△150	△10.9%
その他	6,760	9.4%	7,909	11.0%	+1,149	+17.0%
合計	72,138	100.0%	71,887	100.0%	△251	△0.3%

# 売上高増減要因分析

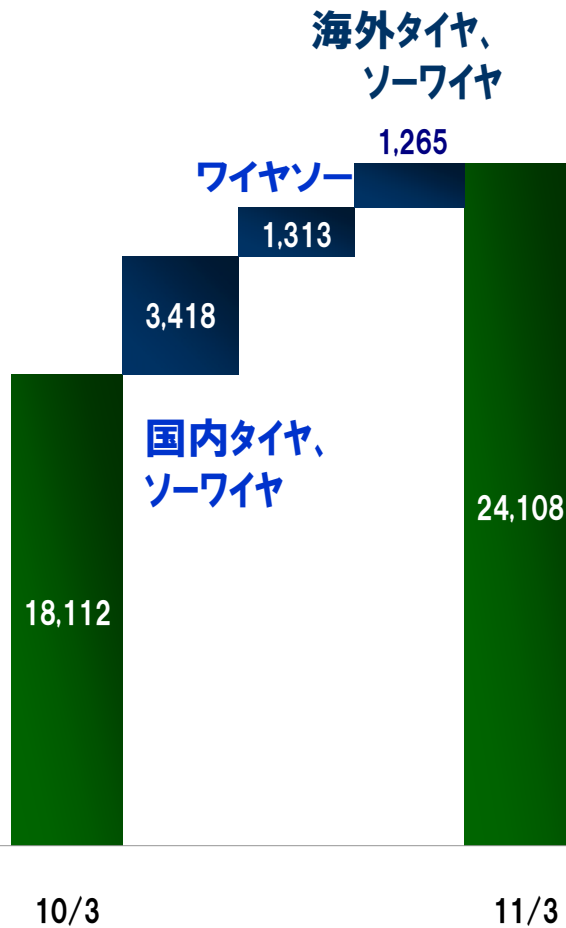
## 鋼索鋼線

ロープ・ワイヤ



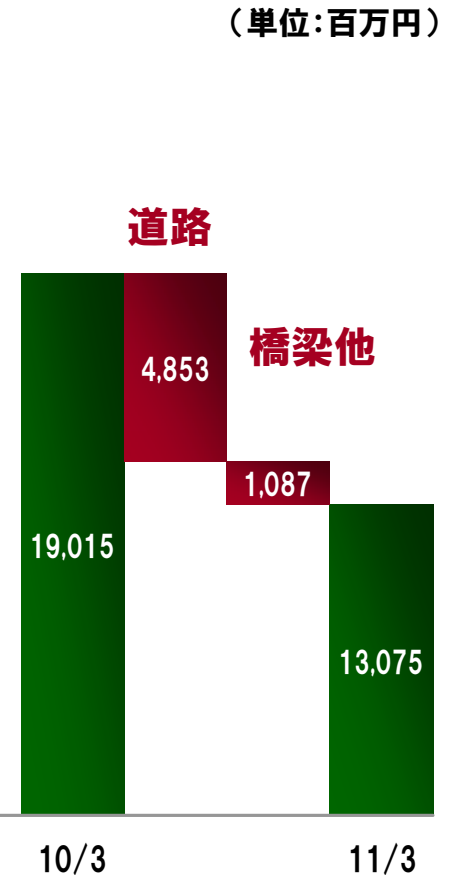
## スチールコード

タイヤコード・ソーワイヤ



## 開発製品

道路安全施設、橋梁他





# セグメント別の状況（営業利益）

開発製品は減収に伴い減益なるも全セグメント黒字化  
 スチールコード事業の大幅改善で全体の収益向上を牽引

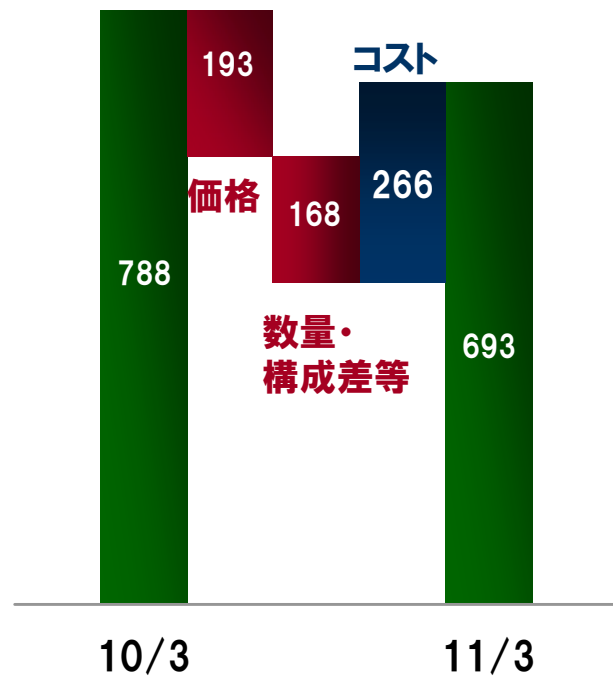
（単位：百万円）

	10/3	構成比	11/3		前期比	
					構成比	
鋼索鋼線	788	—	693	20.0%	△95	△12.1%
スチールコード	△914	—	1,642	47.4%	+2,556	—
開発製品	1,571	—	250	7.2%	△1,321	△84.1%
不動産	714	—	606	17.5%	△108	△15.1%
その他	97	—	269	7.8%	+172	+177.3%
合計	2,256	100.0%	3,463	100.0%	+1,207	+53.5%

# 営業利益増減要因分析

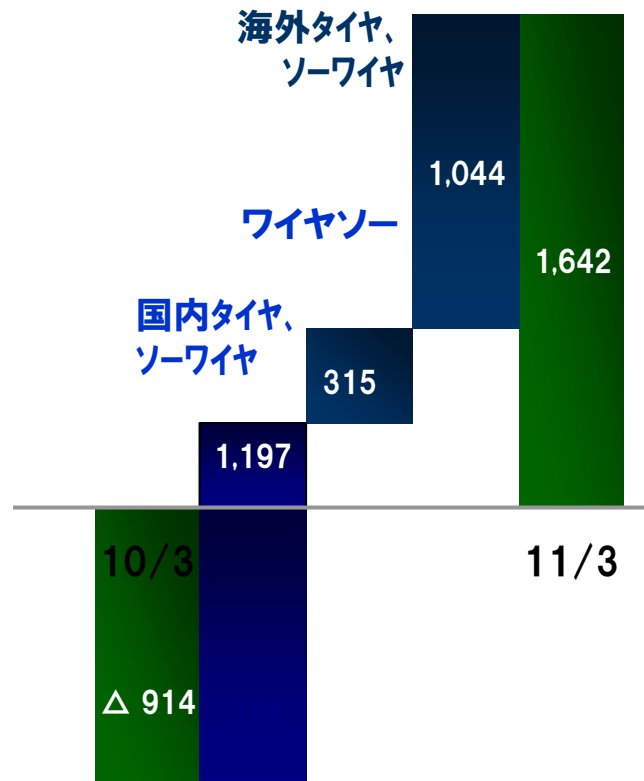
## 鋼索鋼線

ロープ・ワイヤ



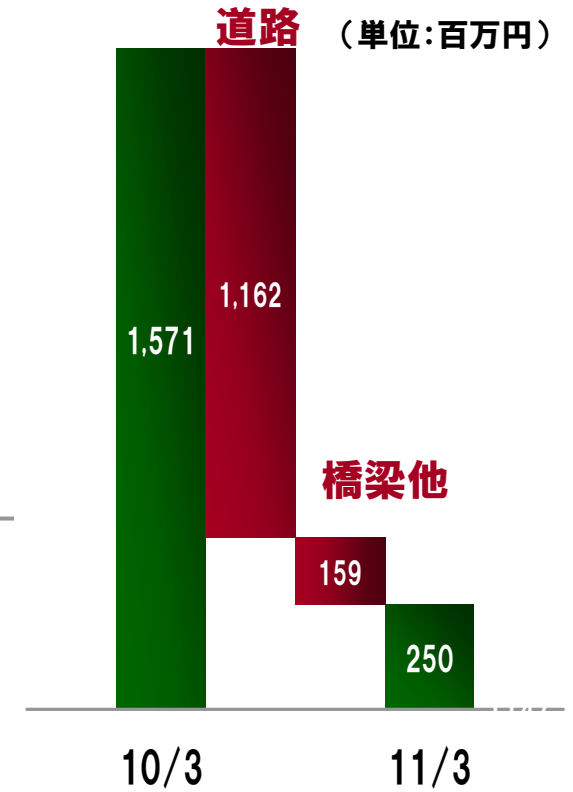
## スチールコード

タイヤコード・ソーワイヤ



## 開発製品

道路安全施設、橋梁他



# キャッシュ・フロー

**営業活動：増益と運転資金バランス改善で100億円を超えるキャッシュイン**

**投資活動：太陽光関連(ソーワイヤ)増強、CFCC事業の投資等**

**財務活動：借入金の返済、配当金の支払等による支出**

(単位:百万円)

	10/3	11/3
現金及び現金同等物の期首残高	1,756	1,645
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,154	10,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,929	△5,375
フリー・キャッシュ・フロー	225	5,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△352	△3,433
現金及び現金同等物の期末残高	1,645	3,480

2011年3月期 決算の概要

2012年3月期 見通し

中期経営計画の進捗状況

# 2012年3月期 見通し

スチールコード事業の更なる拡大により、増収増益へ。  
 収益については、中期目標に対し 震災影響を織り込む

売上高 : 800億円 (前期比+11.3%)

営業利益 : 46億円 (前期比+32.8%)

(単位:百万円)

	11/3 実績	売上高比	12/3 見通し	売上高比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	71,887	-	80,000	-	+8,113	+11.3%
営業利益	3,463	4.8%	4,600	5.8%	+1,137	+32.8%
経常利益	3,054	4.2%	4,200	5.3%	+1,146	+37.5%
当期純利益	765	1.1%	2,200	2.8%	+1,435	+187.6%

# 2012年3月期における震災影響の想定

	第1四半期	第2四半期以降
鋼索 鋼線	土浦工場一部めっき設備立ち上げ期間の稼動ロス（生産・販売減）	生産回復（電力供給制限には操業シフト変更等に対応予定）
	東北水産向け等ロープ需要の減少、北関東方面の需要家の稼動低下	被災影響の需要減少を復興需要でほぼ打消す
スチール コード	北上工場の立ち上げ期間の稼動ロス（生産・販売減）	生産回復（電力制限には自家発電、操業シフトの変更等に対応予定）
	ユーザー（主にタイヤメーカー）の被災影響による稼動低下	操業回復を想定
開発 製品	一時的な工事物件の遅れと今後の復興にともなう受注増の両面が想定されるが、現状不透明感が強く、計画上は両者勘案せず	

# 2012年3月期 主要製品見通し

スチールコードは太陽光関連が引き続き好調、その他は概ね横這い

## 鋼索鋼線関連事業

- ロープ・ワイヤ
- ・国内：水産等需要低迷の一方、海外エレベータロープの増加などで、全体としては、前期横這いを見込む

## スチールコード関連事業

- タイヤコード
- ・国内：数量ベースで対前期比△3%減少見込む(上△14%、下+9%)
  - ・中国： " 30%増加見込む(上+13%、下+50%)
- 
- ソーワイヤ
- ・国内：数量ベースで対前期比20%増加見込む(下期に和歌山拡張)
  - ・中国： " 170% " (期首⇒期末能力倍増)
- 
- ワイヤソー
- ・国内：数量ベースで対前期比300%増加見込む(輸出主体)
  - ・中国：輸入販売に加え、自社製作品が売上寄与

## 開発製品関連事業

- 道路関連
- ：国内公共工事は前期比横這い、海外受注取込みで若干増見込む
- 
- 橋梁ほか
- ：国内公共工事は前期比横這い

# 2012年3月期 年度見通し（セグメント別）

## 売上高

### スチールコード事業が堅調に拡大

鋼索鋼線： 総じて需要は横這い、上期は震災影響を織り込む

スチールコード： 国内3拠点、海外3拠点で太陽光関連中心に拡大

開発製品： 国内公共工事は横這いで想定

（単位：百万円）

	11/3 実績	構成比	12/3 見通し	構成比	前期比	
鋼索鋼線	25,565	35.6%	25,000	31.3%	△565	△2.2%
スチールコード	24,108	33.5%	33,000	41.3%	+8,892	+36.9%
開発製品	13,075	18.2%	13,300	16.6%	+225	+1.7%
不動産	1,230	1.7%	1,200	1.5%	△30	△2.4%
その他	7,909	11.0%	7,500	9.4%	△409	△5.2%
合計	71,887	100.0%	80,000	100.0%	+8,113	+11.3%



# 2012年3月期 年度見通し(セグメント別)

## 営業利益

スチールコードは販売増加にともない収益向上  
 鋼索鋼線、開発製品はコスト改善等で若干の増益見込む

(単位:百万円)

	11/3 実績	構成比	12/3 見通し	構成比	前期比	
鋼索鋼線	693	20.0%	800	17.4%	+107	+15.4%
スチールコード	1,642	47.4%	2,600	56.5%	+958	+58.3%
開発製品	250	7.2%	300	6.5%	+50	+20.0%
不動産	606	17.5%	500	10.9%	△106	△17.5%
その他	269	7.8%	400	8.7%	+131	+48.7%
合計	3,463	100.0%	4,600	100.0%	+1137	+32.8%

# 【上・下半期比較】

太陽光関連売上増で、上・下とも利益率向上  
 上期は震災影響で改善代は小幅に留まる

(単位:百万円)

	10/3 上	11/3 上	12/3 上見通し	10/3 下	11/3 下	12/3 下見通し
売上高	31,641	32,802	35,000	40,497	39,085	45,000
営業利益	3	850	1,000	2,253	2,613	3,600
経常利益 (経常利益率)	△325 (△1.0%)	555 (1.7%)	800 (2.3%)	1,948 (4.8%)	2,499 (6.4%)	3,400 (7.6%)
純利益	△567	△483	300	992	1,248	1,900

# 【上・下半期比較】セグメント別の状況

## 売上高

スチールコード：太陽光関連の能力増強と下期出荷集中

開発製品：道路関連は、主に季節要因で下期に売上集中

(単位：百万円)

	12/3 上見通し	構成比	12/3 下見通し	構成比	差異	
鋼索鋼線	12,000	34.3%	13,000	28.9%	+1,000	+8.3%
スチールコード	14,400	41.1%	18,600	41.3%	+4,200	+29.2%
開発製品	4,500	12.9%	8,800	19.6%	+4,300	+95.6%
不動産	600	1.7%	600	1.3%	0	0%
その他	3,500	10.0%	4,000	8.9%	+500	+14.3%
合計	35,000	100.0%	45,000	100.0%	+10,000	+28.6%

# 【上・下半期比較】セグメント別の状況

## 営業利益

太陽光関連の伸びと開発製品の売上増加で下期大幅増益へ

(単位:百万円)

	12/3 上見通し	構成比	12/3 下見通し	構成比	差異	
鋼索鋼線	200	—	600	16.7%	+400	+200.0%
スチールコード <sup>※</sup>	700	—	1,900	52.8%	+1,200	+171.4%
開発製品	△300	—	600	16.7%	+900	—
不動産	250	—	250	6.9%	0	0%
その他	150	—	250	6.9%	+100	+66.7%
合計	1,000	100.0%	3,600	100.0%	+2,600	+260.0%

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

TCT- I (2010-2011年度の2ヵ年計画)の設備投資  
(投融資含む)140億円、研究開発20億円を上回る  
投資を前倒しで実施中

(単位:百万円)

	11/3	12/3	2ヵ年合計
	実績	見通し	見通し
設備投資額 (うち、海外)	10,629 (8,970)	4,566 (2,462)	15,195 (11,432)
減価償却費	3,624	4,000	7,624
研究開発費 (研究設備含む)	1,404	861	2,265

2011年3月期 決算の概要

2012年3月期 見通し

## 中期経営計画の進捗状況

# 中長期ビジョン～トータル・ケーブル・テクノロジー～

## 中期ビジョン

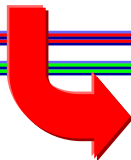
### TCT-1 (ティーシーティーワン)

#### <長期ビジョン>

14/3期 (H25年度) 売上高	1,000億円
経常利益	100億円

#### <Phase 1> = TCT-1 (当初目標)

12/3期 (H23年度) 売上高	800億円以上
経常利益率	7%以上



震災影響等勘案し、12/3期は計画見直し

12/3期 (H23年度) 売上高	800億円
経常利益率	5.3% (下期7.6%)
【経常利益42億円は過去最高収益】	

# 当社が追求するTCT (トータル・ケーブル・テクノロジー)

技術的な奥行き  
の深さ

- \* ケーブル製造
- \* 端末加工技術
- \* ロープ寿命診断
- \* エンジニアリング関連商品
- \* 周辺装置など

独自の強みを活かして  
グローバル且つトータル  
に展開し成長を目指す

スチール

繊維

炭素繊維

素材の間口  
の広さ



# 素材の多様性を活かした事業展開

素材			事業領域	製品特性と 市場の期待
スチール	繊維	炭素繊維		
○	○	○	オフショア向深海用 係留ロープ	スチール代替 or ハイブリッド化で 軽量・高強度化⇒より深海化 するエネルギー開発への活用
○		○	オフショア補強パイプ	同上
○	○		次世代エレベータ、 クレーン	スチール代替 or ハイブリッド化で 軽量・高強度化⇒高層・高速エ レベータ、マシンルームレス化など
○		○	橋梁、送電線 補強	スチール代替で軽量・高強度・高 耐食・低弛度実現⇒橋梁の腐 食対策、大規模送電線網建設 費削減、送電量拡大

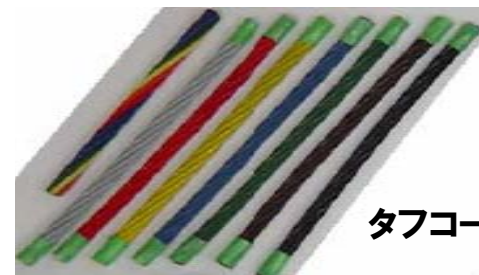
# 期待される復興需要

今後の状況には不透明感があるものの、当社の事業領域であるインフラ関連等で早期復興の一助へ  
(環境・省エネ・安全・防災の差別化製品・工法投入でインフラ再整備)

	貢献が期待される製品等
鋼索鋼線関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PC (プレストレストコンクリート) ホール、パイル用鋼線</li> <li>・ マリコン用海上クレーンロープ</li> <li>・ 建設機械用ロープ</li> <li>・ エレベータメンテ交換用ロープ</li> <li>・ 電線用ワイヤなど</li> </ul>
スチールコード関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交換用タイヤ向けタイヤコード</li> <li>・ 建設機械用高圧ホース補強材ホースワイヤ</li> <li>・ 太陽光発電関連ソーワイヤ、ワイヤソー</li> </ul>
開発製品関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港湾、河川の岸壁補修用タイロープ、ロックマット</li> <li>・ 落石防護製品</li> <li>・ タフコーティッド</li> <li>・ 津波バリアなど</li> </ul>



高エネルギー吸収防護工



タフコーティッド

# 中期経営計画 主要施策一覧

## 環境・エネルギー

- |   |                            |
|---|----------------------------|
| ① | 太陽光発電関連事業<br>(ソーワイヤ、ワイヤソー) |
| ② | オフショア事業への進出                |

## 省エネ・安全・防災

- |   |             |
|---|-------------|
| ③ | CFCC事業の推進   |
| ④ | 資源、インフラ整備事業 |

# 主要施策の展開状況①

## ①太陽光発電関連事業(国内外6拠点)

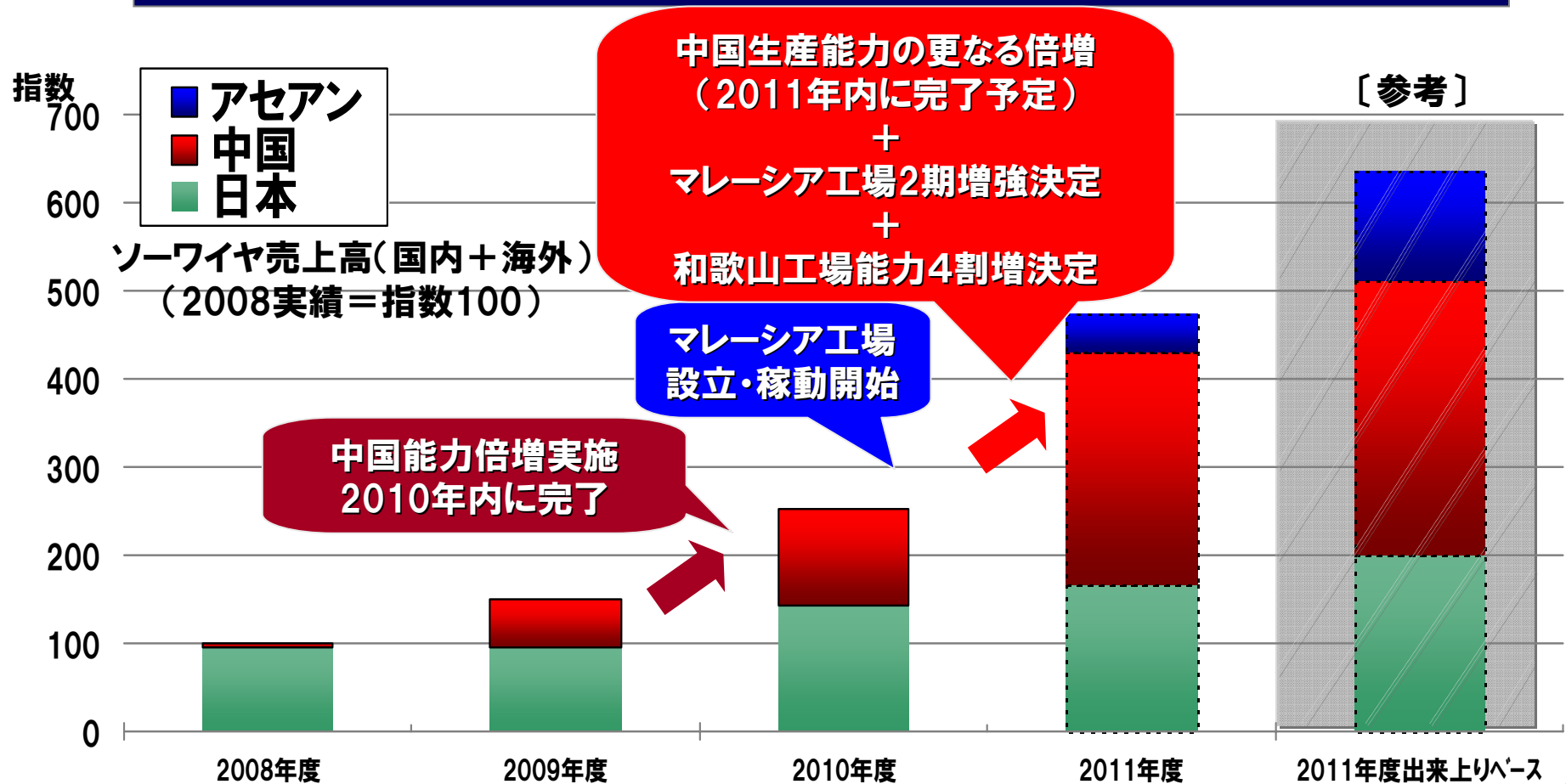
マレーシア工場(ソーワイヤ)、常州機械(ワイヤソー)が本格稼動開始

ソーワイヤ	国内拠点・・・
	(1) 北上工場 (2) 和歌山工場
ワイヤソー (製造装置)	国内拠点・・・ (5) 北上機械製作所
	海外拠点・・・ (6) 中国/東京製綱(常州)機械有限公司

# ①-1 太陽光関連 海外ソーワイヤ拡販

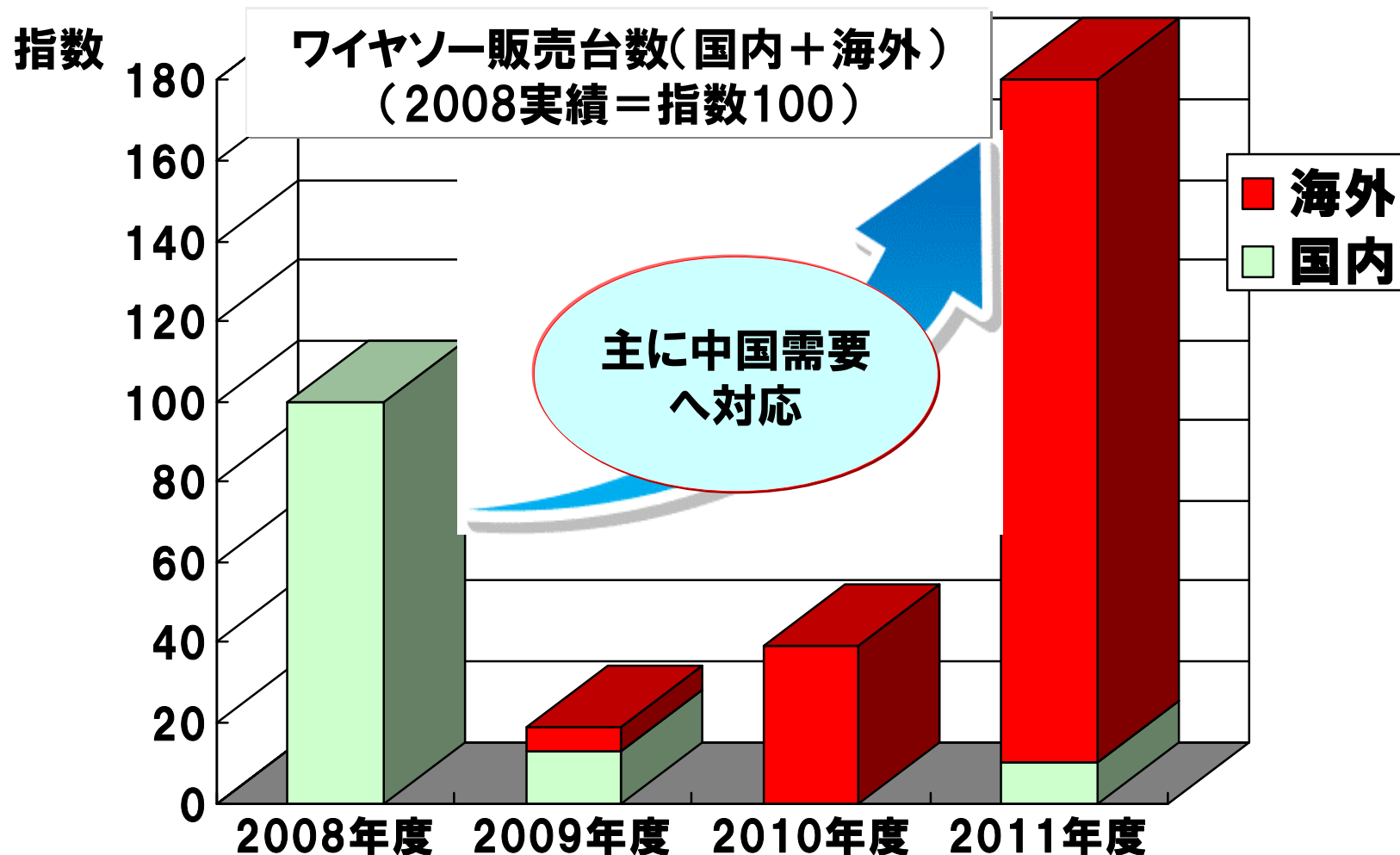
ソーワイヤ：太陽電池産業の成長著しい中国、アセアン（消耗品）を中心に供給能力継続拡大中。

海外2拠点の能力拡大に加え、国内（和歌山工場）も増強



# ①-2 太陽光関連 ワイヤソー需要へ対応

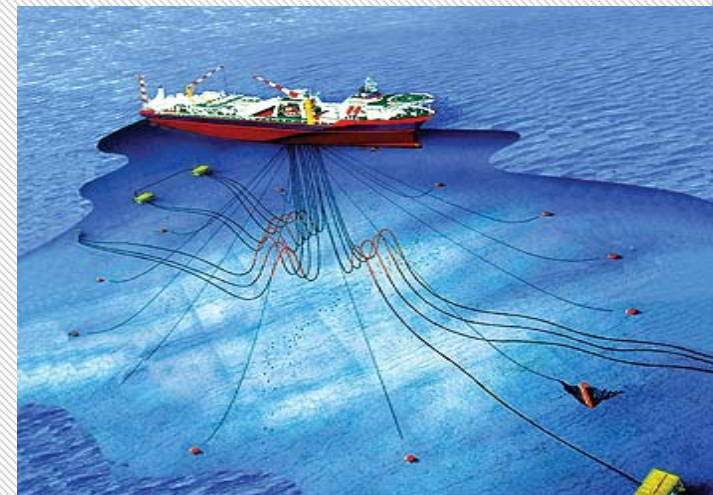
**ワイヤソー： 中国工場が稼働スタート(2011年1月)**  
**(装置) ソーワイヤ(消耗品)とのシナジーで売上拡大**



# 主要施策の展開状況②

## ② オフショア事業

- ・海上石油等エネルギー開発用ワイヤロープ事業
- ・**韓国/高麗製鋼(株)のマレーシア子会社と合併締結**
- ・事業規模 年間売上 50～80億円
- ・資本金 45百万米ドル(当社出資比率30%)
- ・**現在、マレーシアに工場建設中**  
〔2011年内中に操業開始予定〕
- ・**海洋開発の活発化、深海化にともない、更なる展開を検討中**



# 主要施策の展開状況③

## ③CFCC (炭素繊維複合材ケーブル) 事業

- ・米国橋梁補修・新設、海外大型送電網等
- ・市場規模 年間売上 数百億円以上
- ・前期中の主な投資

**長尺品生産設備の建設完了(約4億円)**  
〔現在、長尺サンプル品製作中〕

◎全磁束診断※・・・米国橋梁ケーブルの腐食診断  
〔米国長大橋など数橋に実施〕

**長寿命特性のCFCC提案にシナジー期待**

※本四連絡橋などで活用されているPC・吊橋等の非破壊腐食診断



# 主要施策の展開状況④

## ④資源、インフラ整備事業

### (i)中国橋梁ケーブル事業

- ・ワイヤ製造と集束の再編完了

現地パートナー(江蘇法爾勝股份有限公司)との合併強化

①ケーブル用ワイヤ製作会社+②ケーブル集束会社を  
合併2社で一体運営開始

### (ii)CIS諸国 エンジニアリング商品

- ・開設済みのロシア(モスクワ)、カザフスタン(アルマティ)

駐在員事務所を中心に市場調査中

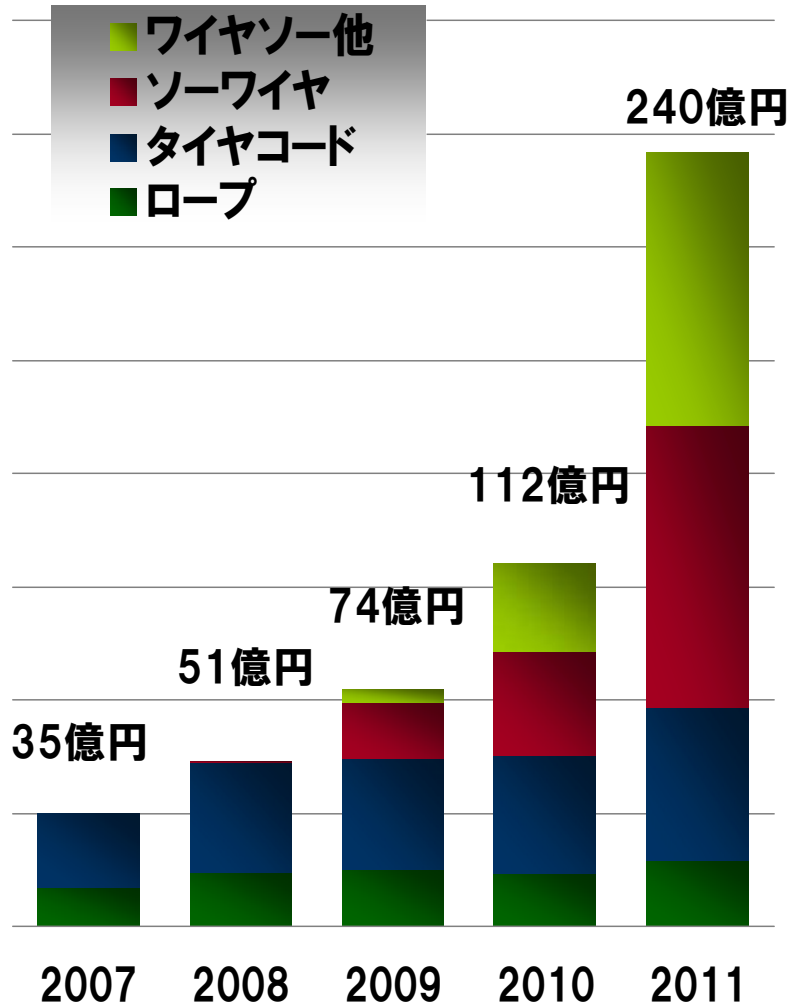
- ・現地拠点設立を機に本格的市場参入を推進、  
ポストオリンピック(2014年ロシア/ソチ)の事業展開を構築中

### (iii)中国ロープ市場への展開

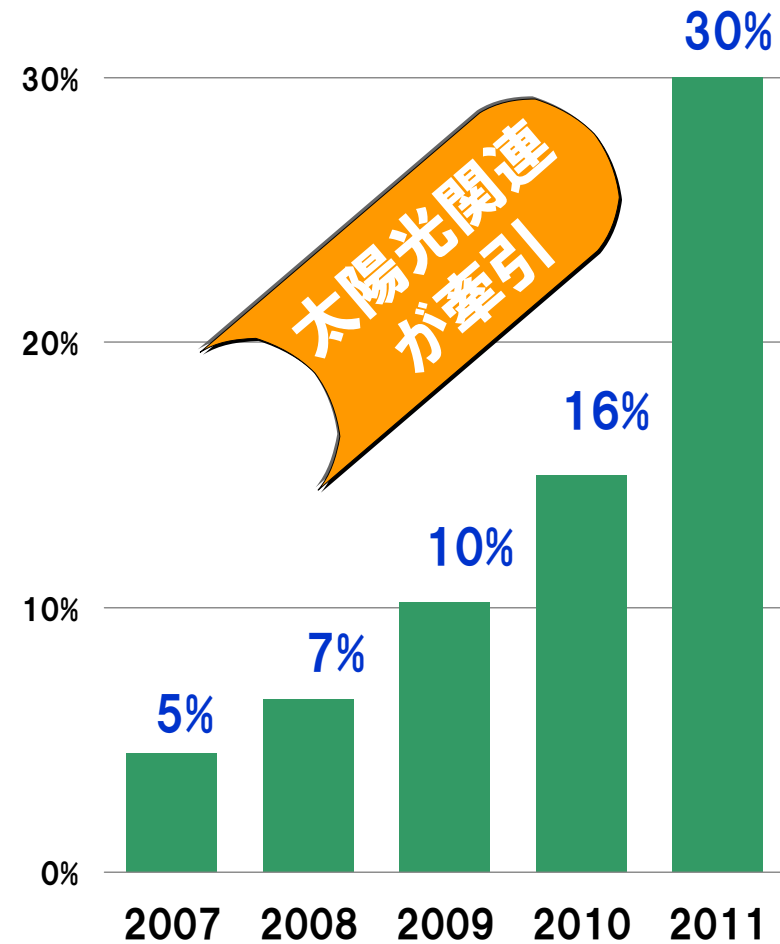
- ・中国向エレベーターロープ販売堅調でベトナム工場増強決定
- ・鉦山用太物ハイエンドロープの現地生産を継続検討中

# 海外事業の進捗状況：着実に拡大進展中

## 海外売上推移



## 海外売上比率



# 安定的な株主還元を継続

## 連結業績に連動した株主への利益還元

次期配当は現時点で未定なるも、安定配当を予定  
 + 業績動向を勘案した配当も検討

	09/3	10/3	11/3	12/3 予定
通 期	2円50銭	2円50銭	2円50銭	未定
配当性向(連結)	—	85.9%	47.5%	—

## ご注意

- 本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。

東京製綱株式会社

2011年5月